

かながわ人生100歳時代ネットワーク

# 「この指とまれプロジェクト」

わかばダイバーシティスペースWakka  
(わっか) プロジェクト



認定NPO法人 若葉台

# ① 団体概要

- 当法人は、若葉台地区社会福祉協議会が障害者の居場所づくり研究会の成果として障害者、高齢者、子育て世代が地域で安心して楽しく暮らせる居場所、コミュニティを作ってきました。
- 認定NPO法人若葉台の概要
  - (1) 住 所 横浜市旭区若葉台
  - (2) 設 立 2009年4月1日
  - (3) 事業内容
    - ① 地域交流拠点 ひまわり（主に高齢者）
    - ② わかば親と子の広場そらまめ（0から3歳までの親子の子育て支援）
    - ③ 障害者地域作業所・若葉台ぶんげいざ
    - ④ 地域交流サロンふれあいにし（障害者が運営する軽喫茶）
    - ⑤ 農業生産事業（農地を借り福祉的農業生産）
    - ⑥ 任意後見、死後事務委任契約事業
    - 新⑦ わかばダイバーシティスペースWakka（わか）（中高生の居場所事業も実施）
  - (4) 協力者 70人（正職員、非常勤職員、ボランティアを含む）



- 令和元年から様々な可能性について研究する中でTRC図書館流通センターや多くの方々の支援を受けながら実現に向けて取り組んできました。
- 令和3年11月、国土交通省「人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業」に応募、選定されました。
- このスペースは、多様多世代によるまちの賑わいと活性化、住民の生きがいと健康づくりに使われます。  
住民は企画を提案し合いながら自らイベントに参画し生き生きとした住民活動に輪を繋げてまいります。

# 発展する若葉台を目指して

- 令和4年夏、住民の力の結集でこれからのまちづくりの一つの方向、コミュニティの深化と持続可能な活動を目指して、わかばダイバーシティスペースWakka(わか)の誕生です。



- コミュニティの輪が幾重にも重なり、繋がっていく、笑顔が繋がっていく、幸せが繋がっていく、Wakka(わか)はそれらを生み出すスペースです。





Wakka



### 【多様、多世代交流・学習スペース】

- 昼間は高齢者と子どもたちの交流の場になると考えています。夕方からは中高生の交流、学習の場になるといいなあと考えています。多様多世代交流拠点は、高齢者、障がい者、外国人が交流する場所、特に中高生の居場所を意識して10時から20時までオープンすることになっています。
- 子どもの居場所、高齢者がそれを支える交流の場です。居場所が少ない子どもや親の支援をすることで自己確立、自己肯定感を育てる契機になるような居場所をつくります。
- 地域住民の芸術・文化の発表の場。芸術・文化の取組みは精神性をはぐくむうえで重要な役割を果たすことに着目し地域住民の文化、芸術の発表の場、交流の場づくりを進めます。

## ②事業概要

---

### 【多様、多世代交流・学習スペースを使って様々なイベントを仕掛ける】

- 昼間は高齢者と子どもたちの交流の場になると考えています。夕方からは中高生の交流、学習の場になるといいなあと考えています。多様多世代交流拠点は、高齢者、障がい者、外国人が交流する場所、特に中高生の居場所を意識して10時から20時までオープンすることにしていきます。
- 子どもの居場所、高齢者がそれを支える交流の場です。居場所が少ない子どもや親の支援をすることで自己確立、自己肯定感を育てる契機になるような居場所をつくれます。
- 地域住民の芸術・文化の発表の場。芸術・文化の取組みは精神性をはぐくむうえで重要な役割を果たすことに着目し地域住民の文化、芸術の発表の場、交流の場づくりを進めます。多世代の参加によって、住民の生きがい、健康づくりを進めます。

## ②事業概要

---

- ・ プラチナ未来スクールと連携して、プラチナ未来スクールロボット横浜教室一日体験会を8月23日に開催した。今回の経験を活かして将来的には小学生を対象にセンサーの仕組みやプログラミングなど、ロボットの基礎的な知識を楽しく学ぶ、指導者は地域の大人にも参加していただく。
- ・ コロナ対策  
募集人員は20名以内とし、コロナ対策を十分に行いながら事業を実施した。
- ・ 実施場所わかばダイバシティスペースWakka（わか）
- ・ 参加費 無料



### ③事業の期待する効果

---

- わかばダイバーシティスペースを最大限活用するためには、多くの企画を生み出すことが大事。このかながわ100歳時代ネットワークに参加されている皆さんにもぜひご支援をお願いしたい。
- 小学生と地域の高齢者が結びつくことにより子どもへの地域支援が充実することにより学校教育に対する地域の結びつきが深まる。
- 地域の高齢者の生きがい、健康づくりにも効果が期待できる。
- 新しくオープンする商店街の空き店舗をリニューアルしたわかばダイバーシティスペースWakka（わか）の活用が充実することで賑わいと活性化が期待できる。

## ④対応するSDG s のゴール

---



## ⑥事業のスケジュール

---

- 9月 わかばダイバーシティイベント企画委員会を立ち上げる
- 10月 企画書の作成  
子どもとともに遊ぶセミナーの開催
- 11月 老人クラブ、自治会等へ案内、チラシの配布  
参加者募集
- 12月 各種イベントの実施

## ⑤連携を期待するリソース

---

- 子ども支援に取り組んでいる団体と連携し、子どものニーズに対応する。
- 地域活性化と高齢者の生きがい、健康づくりのためには適度な運動と社会参加が有効であることが分かってきた。そこで、地域の老人クラブや自治会と連携して子どもと高齢者の新たな居場所を作っていく。
- 小中学生の生活学習環境によっては、学校に行きづらい、放課後の居場所が少ない子どもも確認されている。そこで、地域の老人が子どもと遊ぶスキルを身に着けるためのセミナーを開催する。テキストとして、さわやか福祉財団が発行している資料を利用する。

## ⑦ ネットワーク団体へのメッセージ

---

- この事業は地域が学校、家庭と一緒にあって地域の子どもを地域がどう支援していくかというプロジェクトでもあると考えています。
- 様々な資源をお持ちの皆さんからも是非豊富なアイデアをいただければありがたいです。
- 子どもの未来、それは私たちの希望でもあります。マスクを毎日つけなければならないなどコロナ禍もあって子供たちの成長の機会や自己肯定感・自己確立をしにくい時代に何とか地域も支援の輪に加わりたいと思います。